

北秋田市 しょうがっこう
冬の笑楽校
一度は受けてみたい授業

1月10日(金)	
8:50 ~ 9:00	開校式
1時間目	9:00 ~ 9:50 音楽 「バターもちのうた」&「バターもち体操」
2時間目	10:00 ~ 10:50 国語 「百人一首を学ぼう」
3時間目	11:00 ~ 12:20 家庭 「調理実習」
昼休み	12:20 ~ 13:30 給食 「3時間目に作ったものを食べよう」
4時間目	13:30 ~ 15:00 理科 「スペシャル! 理科実験」

★スクールバスをご利用できます★
(行き)大阿仁公民館 7:20→阿仁公民館 7:40
→森吉公民館 8:10→合川公民館 8:25→中央公民館 8:40 / (帰り)中央公民館 15:20発

■場所 中央公民館 ■定員 30人
■参加費 高校生以下500円、一般700円
■申込締切 1月7日(火)
■問い合わせ 生涯学習課 ☎62-1130

文化財を守り、防災意識を高めるため、防火訓練を実施します。地域の皆さまの参加をお願いします。

日時 1月26日(日) 9時~10時
場所 阿仁銀山地内(伝承館・異人館)
集合場所 阿仁分署前

「文化財防火デー」防火訓練
文化係 ☎62-6618

■男の料理教室
日時 1月22日(水) 10時~12時
場所 阿仁公民館
定員 10人
申込締切 1月14日(火)
持ち物 エプロン・三角巾・筆記用具

阿仁公民館短期講座
阿仁公民館 ☎82-2220

放課後児童クラブの募集
生涯学習係 ☎62-1130

放課後児童クラブは、保護者が仕事などで日中留守になる家庭に代わって、子どもたちに安全な生活の場と遊びの場を提供するものです。

◆対象児童 保護者が就労等により日中家庭にいないおむね10歳未満の児童

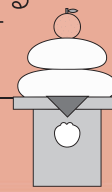
◆申込み 2月28日(金)までに入会希望の児童クラブへお申込みください。現在利用されている方も、改めて申し込みが必要です。

◆提出書類 ①児童クラブ入会申込書 ②児童票

※関係書類は、1月14日から各児童クラブ、各公民館に設置します

学びの広場

地域で学び、活動する
皆さんを応援します
北秋田市教育委員会



- 公民館活動 ●生涯学習
- 文化振興 ●学校 ●スポーツ

青少年健全育成成功労者表彰を受賞

～北秋田鷹巣祇園太鼓振興会～

11月14日に秋田県庁で行われた青少年健全育成秋田県大会において、北秋田鷹巣祇園太鼓振興会(今立明・代表)が功労者表彰を受賞しました。

今回の受賞は、市内の小学生を中心に太鼓の指導をしながら、伝統芸能意識の高揚を図り、子どもたち同士の交流を深めるなど、これまでの活動が青少年の健全育成に深く貢献したことが認められたもの。

11月26日には、今立代表はじめ関係者が市役所を訪れ、津谷市長に受賞を報告し「善意で始めた活動がここまで続き、1700人の子どもたちという貴

重な財産ができた。これからも子どもたちの育成と地域の伝統芸能継承に努めたい」などと述べました。



▲今立代表(中央)はじめ関係者が市長に受賞報告

まちの宝を見つけ出そう

～第3回「ふるさとの未来・再考!フォーラム」～
第3回「ふるさとの未来・再考!フォーラム」が12月8日、市交流センターで開かれ、市民ら約170人が参加し、講演や事例発表などを通して、地域づくりの新たな可能性を探りました。

フォーラムでは、三重県立相可高校の生徒が運営する「高校生レストラン」の仕掛け人である岸川政之氏の基調講演、総合学習や地域活動、社会貢献活動に取り組む児童生徒の事例発表、「まちの宝のを見つけ方と磨き方」をテーマとしたパネルトークなどが行われ、参加者は地域資源を見つけ、光らせて

宝にしていくことの大切さを学ぶとともに、子どもたちが誇りに思う地域づくりについて考えました。



▲基調講演の講師を務めた岸川政之氏

まなぼう、あそぼう、つたえよう

～生涯学習フェスタ2013～

『生涯学習フェスタ2013』が12月14日、中央公民館で開かれ、子どもから高齢者まで幅広い年齢の人たちが参加して、多彩なイベントを楽しみました。

会場には、公民館講座など生涯学習にかかわる体験交流コーナーや、鷹巣中央小学校の三味線クラブによる演奏、スコップと栓抜きで演奏する「スコップ三味線」、「ミュージック・ケア」、「フォークダンス」などが披露されました。

また、比内養護学校たかのす分校「絆カフェ」、生活支援センター「ささえ」による非常食作り、秋

田北鷹高校家庭クラブの「ししとうカレー」試食など、食のコーナーも好評でした。



▲鷹巣中央小学校の三味線クラブ

ふるさとの文化財 70

北秋田市指定無形民俗文化財

○「阿仁からめ節」

(民俗芸能)

- ◇所在地 北秋田市阿仁銀山
- ◇管理者 阿仁からめ節保存会

〈内容〉 「唄い手」と「踊り手」を内容とした癒し唄です。

〈起源〉

阿仁鉦山で働く女性たちが、つらい労働の疲れを癒すために唄った作業唄として、踊り手とともに伝承されてきたものです。少なくとも今から300年前に始まったと言われています。

「からめ」とは、坑道口前に掘り出された鉦石を、金槌で叩いて細かく選別する「鉦つぶし」のことです。

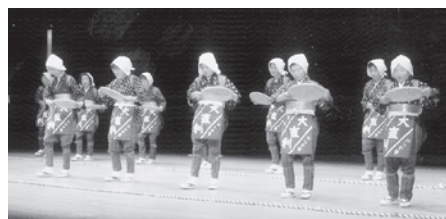
阿仁鉦山は、享保(1716年)～宝暦(1751年)年間、銅の生産量日本一を誇り、秋田藩の重要な財源として栄えた優れた鉦山でした。

〈構成〉

唄い手と踊り手からなり、踊り

手は鉦石を砕く作業から始まり、選別された「金のベゴコ」という牛の形をした金の塊を、牛に例えて手綱を引く嚙子で終わります。選別作業は女工が受け持っていたことから、労働の激しさを紛らわすために口ずさんだ唄であり、後年その風景が踊りとなりました。

▶阿仁からめ節



※現在は、観光イベントや市内地域行事で披露されています

- ▽平成7年3月6日指定文化財
- ▽資料/北秋田市教育委員会作成資料、「広辞苑」、保存会資料、聞き取りほか
- ▽紹介者/北秋田市文化財保護審議会委員 照内捷二